

研究のために、あなたのカルテの情報を使用させて頂いております

◎対象となる患者さん: 当院でバンコマイシンの投与を受けたことがある方

1. 研究の題名 『バンコマイシンの血中濃度予測にBMIが与える影響』

バンコマイシンはメチシリン耐性黄色ブドウ球菌に代表される薬剤耐性菌の治療に重要な役割を果たす薬剤の一つです。バンコマイシンは他の抗菌薬と比べ腎機能障害等の副作用が起きやすく、患者さんの体重や腎臓の機能に合わせて個別に投与量を設定し、薬物血中濃度の測定を行うことで、投与量の適正化を図ります。体重を参考に投与量を決定することは、国内のガイドラインでも推奨されていますが、過去の研究で体重が軽い方や、重い方は薬物血中濃度の予測が困難ということが分かっています。そこで、バンコマイシンの血中濃度予測にBMIの与える影響が今回の研究で明らかになることは、より安全な治療が可能となります。

＜研究期間＞ 2024年4月1日～2029年3月31日

2. 利用目的 及び 利用方法

＜利用目的＞ バンコマイシンの予測血中濃度にBMIが与える影響を後方視的に検討し、明らかにすることで、より精度の高い初期投与設計を提案できる。

＜利用方法＞ 利用・提供

3. 以下の期間に上記(◎対象となる患者さん)を満たした方が対象です

＜対象期間＞ 2021年4月1日～2024年3月31日

4. 本研究で利用する試料・情報について

本研究に関して診療記録から以下の情報を取得します。

[患者背景] 年齢、性別、身長、体重、感染臓器、既往歴(高血圧、心不全、糖尿病、腎不全、悪性腫瘍など)

[検査所見] 採血データ(VCM投与開始時および、初回トラフ血中濃度採血時) WBC、AST、ALT、LDH、 γ -GTP、BUN、SCr、CRP、BNP、微生物学的情報(同定菌名、薬剤感受性結果)

[薬剤関連情報] VCM関連(投与日、投与量、投与速度、溶解液量、血中濃度、再投与設計の有無)、併用薬

5. 利用する者の範囲

取得した情報は、飯塚病院の下記研究代表者 及び 研究分担者において使用します。

長崎 皓光(研究責任者)

6. 情報の管理の責任者について

この研究の責任者は以下の者です。研究の成果を学会や論文等で発表する際には名前等を番号や記号に置き換え個人が特定できない様に行います。また、この研究にあたり個人情報の漏洩等がないよう取得した情報等を管理し、患者さんに不利益がない様に責任を持ちます。

＜診療科名または部署名＞ 薬剤部

＜研究代表者名＞ 長崎 皓光

7. 試料・情報の利用 及び 他の研究機関への提供の停止を希望する患者さんまたはそのご家族等の方へ

この研究にあなたの情報が使用されることを希望されない場合や疑問点などがありましたら、ご遠慮なく下記の連絡先までご連絡ください。お申し出頂いても、患者さんやご家族が不利益を被ることは一切ございませんので、どうぞご安心ください。また、この研究に関する計画書を、研究に支障のない範囲で閲覧することができます。その場合も下記連絡先までご連絡下さい。

<連絡先> 株式会社麻生 飯塚病院 0948-22-3800 (代表)

<担当者> 長崎 皓光

< Mail > hnagasakih1@ain-net.com